

公益社団法人山梨県看護協会立 訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所 ヘルパーステーション



H29 年度の振り返りと H30 年度に向けて

所長会 H30.5 発行

「訪問看護ステーションだより」発行に寄せて

山梨県看護協会 会長 古屋玉枝



平成 29 年 4 月には新所長(貢川・富士北麓・つる)3 人が就任し、この 1 年、先輩所長たちと共に頑張ってくださいました。中でも 28 年度からの ICT 化に向けての取り組みは各ステーションの事務職員の頑張りを受けて平成 30 年 4 月本稼働にこぎ着けました。平成 29 年度は久しぶりに全事業所の職員全員による親睦会を「明るく楽しく」盛大に開催できました。また、日頃の実践から利用者さんやご家族から高く評価をいただいています。一人ひとりが「協会立の事業所の職員であることに自信と誇りをもって」行動していただいている証と考えます。ありがとうございます。ますます期待は高まります。

日本看護協会では、ご存知のとおり「2025 年に向けた看護の将来ビジョン 看護職の役割」を掲げ明示しています。4 月の診療報酬・介護報酬改定に見る「看護職への期待」は地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化・連携の推進、質の高い在宅医療・訪問看護の確保、医療と介護の連携の推進であり、中重症者・看取りへの積極的な対応等、在宅看護の実践能力であります。また、国の「働き方改革」による現場の就労状況や給与規程等の見直しも必要です。平成 30 年度も始まり、29 年度の振り返りから課題を明確にし、所長はじめスタッフ一人ひとりの力をお借りして「県民の健康な生活の実現に貢献していきたい」と考えます。本年度もよろしく願いいたします。

健康で働き続けるために

訪問看護ステーション部 部長 鈴木操



雲一つない青空、輝く緑の若芽、咲き誇る花々、大地の息吹を感じる季節ですね。

日々の訪問活動、お疲れ様です。多忙な毎日をお過ごしのことと思いますが、心も身体もお元気ですか？

ご自宅や地域で療養されている方やご家族を支える私たちは、自身の健康管理や健康づくりを実践して、健康で働き続けることが大切だと思っています。

当協会立訪問看護ステーションに勤務している訪問看護師の平均年齢は 50.9 歳。女性ホルモンの変化による症状の出現、家族の介護や子供の教育、職場での人間関係や利用者さんとのやり取り等様々なストレスと戦っている方もいらっしゃるのではないかと想像しています。

さて、どうしましょう・・・。

個人で解決できること、法人組織で取り組む労務管理や業務マネジメント、そして関係者と連携・協働することで改善することなどがあります。治療と就業が両立できる職場だと安心ですね。

年齢を重ねても健康で、豊富な看護や介護の経験を活かし、一人一人の能力を尊重しながら働き続けることができる職場でありたいと思います。

皆様の声をお寄せください。



平成 27 年度より公益社団法人山梨県看護協会が山梨県からの委託を受け、山梨県訪問看護支援センター事業を開始して、3 年間で過ぎました。開始以来当該事業を担当させていただきましたが、訪問看護ステーションの皆様にとりお役に立てたでしょうか？まだ、人材確保、育成、社会の変化と共に多くの課題が現れ山積みとなっていくかと思うと肩の荷が重い感じがします。しかし、現場で実践に前向きに取り組まれている皆様に比べたと、皆様と顔を合わせる度に元気をいただきパワーとなりました。

平成 29 年度ですが、多々ある事業の中でトピックスとなる 1 つの事業を報告させていただきます。当センターの事業の一つである医療機関と訪問看護ステーションのネットワーク化を目指すということで、中北保健福祉事務所峡北支所と協働して「在宅療養者を支援するための多職種交流会～医療・看護・介護の『見える化』を目指して～」を、12 月 7 日に開催しました。訪問看護ステーションほっと・ほっと韮崎塚越暁美副所長が訪問していた利用者について、韮崎市立病院の副院長、かかりつけ医、ケアマネジャーがどのような連携を取り在宅での生活が本人、家族の希望に繋がったかをそれぞれ報告していただき、参加者 122 人がグループに分かれ、それぞれの立場で何ができるかを話し合い、発表しました。座長として佐藤悦子先生にご協力いただきました。医師からは、「このグループで在宅医療ができれば最高」、また、ケアマネジャーからは「訪問看護師と一緒に実践すると家では無理かなという利用者も本人、家族の思いが叶えられることがわかった」という言葉を聞くことができました。今後も地域ごとの交流会を企画していきたいと考えていますので、該当地域での開催の際には、日頃の実践から、訪問看護の不思議であり強い力を報告していただければと思います。

文責：小池

*H30 年 4 月より訪問看護支援センター長に池田直子氏が就任されました。

自主所長会主催研修会が開催されました



第 1 回 H29 年 8 月 5 日（土）

「課題整理総括活用」 講師：ゆうき居宅介護支援事業所 塩沢ゆきね所長

「ケアマネ更新研修対策」 講師：ゆうき訪問看護ステーション 並木奈緒美所長

第 2 回 H30 年 1 月 20 日（土）

「看護過程と看護計画」 講師：ゆうき訪問看護ステーション 並木奈緒美所長
実践に即した内容で好評でした。今年度も企画しておりますのでご参加ください



県民の看護師さん受賞

県民の看護師さんを受賞して

訪問看護ステーションほっと・ほっと韮崎 佐藤 一美



昨年 5 月、県民の看護師さんを受賞させていただき、本当にありがとうございます。これまで行ってきた自分の看護を認めていただけたように感じ、大変うれしく思います。これも、今まで支え・指導してくださいました職場の皆様や・利用者さん、そして理解ある家族のおかげと思っています。研修旅行にも参加させていただき、貴重な経験をたくさんさせていただきました。オーストラリアの保険制度や看護師資格のこと等を学び、特に看護師資格のレベルによっては麻薬以外の処方も出来るなど、看護師の地位や質の高さに驚きました。訪問看護師さんと直接お話する機会も

あり、病院と地域医療の連携についても学ぶことが出来ました。このような機会を与えてくださり、本当に感謝しております。今回学んだことを、今後の看護に活かし、これからも頑張りたいと思います。



緩和ケア認定看護師合格

緩和ケア認定看護師資格を得て

ゆうき訪問看護ステーション 田中美江



昨年7月に緩和ケア認定看護師の資格を取得させていただきました。嬉しい思いとこれからの責任の重さを痛感しています。緩和ケア認定看護師の役割は“苦しみを緩和しその人らしさを支えること”です。私は日々これでいいのか？私に何ができるのか？と考え仕事をしています。この役割が少しでも果たせるように日々研鑽し、スタッフの皆さんと一緒に考え、療養者さんのその人らしさや希望・大切にしていることを大事にして支援ができたらと思っています。どうぞ、これからもご指導をよろしくお願い致します。

新入職員紹介



大谷 明子

はじめまして。2月から富士北麓訪問看護ステーションに勤務しております。在宅で過ごす療養者さんご家族が、少しでも安心して穏やかに過ごせるお手伝いがしたいと訪問看護の道に進むことを選びました。尊敬できる先輩がたくさんいる職場で日々多くのことを学ばせていただいています。学びと反省の毎日ですが、利用者さんご家族の笑顔と、やさしい先輩方の励ましの言葉で前向きに頑張っています。在宅で過ごす方の生活に笑顔と安心が増えるよう頑張っていこうと思います。よろしくお願い致します



石原 恵美

昨年7月より、ますほヘルパーステーションにてヘルパーの仲間入りをしました。ベテランヘルパーの皆さんのご指導やアドバイスをお聞きしながら日々訪問介護業務を行っています。利用者様との温かいコミュニケーションを大切にしながら気持ちに寄り添い、生活のお手伝いをして行きたいと思っています。また、介護の知識や技術の向上に向けて情報収集や学びの時間を作り、少しでも利用者様ご家族の皆様、地域のお役に立てるよう日々、自己研鑽に努めていきたいと考えています。



保坂 千里

私がこの仕事に就いたのは、9年余りの母の介護がきっかけでした。自宅での看取りを経験し、介護をする辛さ、苦しみ、喜びをこの目で見て感じてきました。この経験が少しでも役に立てばとの思いで介護の仕事に就きました。昨年、前の事業所の閉鎖に伴い、ますほヘルパーステーションに勤めさせて頂くことになり、事業所が換わるとやり方も違い慣れるのに時間がかかりましたが、ここまでやってこれたのも所長はじめ周りのスタッフの支えがあったからです。

職員交流会が開催されました



平成 29 年 10 月 14 日、秋晴れのなか看護協会立のステーションの職員交流会が行われました。甲府市国玉町のイタリアンレストラン ショコ.ラを貸し切り楽しい時間を過ごしました。それぞれのステーション紹介では趣向を凝らした楽しい出し物で、たいへんな盛り上がりでした。意外な方の才能の数々に時の経つのも忘れる程でした。空クジ無しの抽選会では豪華景品がドッサリと準備されました。液晶テレビなどの電化製品やディズニーランドペアご招待券等々運試しにはもってこいのドキドキタイムでした。

日頃の忙しい日々からひと時解放されて、ステーションの枠を越えて心の交流をはかることができました。「より良いサービスの提供を目指し、共に頑張る仲間がいる」そんな気持ちになれた素敵な時間でした。実行委員の皆様、企画準備からお疲れ様でした。

第 2 弾 3 弾を期待しています。 ほっと・ほっと 韮崎 塚越 暁美

○実行委員：志村（貢川） 青柳（ゆうき） 岡田（ゆうき 居宅） 中澤（荒川） 塚越（韮崎） 敬称略



編集後記：寒暖差が激しく体調を整えるのが大変な日々かと思えます。おたよりを 29 年度中に発行できず申し訳ありませんでした。それぞれの事業所が時代の変化に対応すべく、交流会でみせた団結力をもって頑張っていきましょう。 所長会広報誌担当 渡辺 齊藤